

茂呂森一先生 略歴

| | |
|------------|------------------------------------|
| 昭和 8 年 4 月 | 旧制山口 高等学校文科甲類入学 |
| 同 11 年 3 月 | 卒業 |
| 同 12 年 4 月 | 旧制東京大学経済学部商業学科入学 |
| 同 16 年 3 月 | 卒業 |
| 同 29 年 4 月 | 関東短期大学（経営学専任講師） |
| 同 32 年 3 月 | 退職 |
| 同 32 年 4 月 | 亜細亜大学助教授 |
| 同 37 年 3 月 | 退職 |
| 同 37 年 4 月 | 玉川大学（経営学教授） |
| 同 43 年 3 月 | 退職 |
| 同 42 年 4 月 | } 埼玉大学非常勤講師を兼任 |
| 45 年 3 月 | |
| 同 43 年 4 月 | 神奈川大学教授 (なお43年 6 月山梨大学非常勤講師を兼任) |

茂呂森一先生 教育研究業績書

| 著書，学術論文等の名称 | 単著 共著 の別 | 発行又は 発表の年月日 | 発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称 | 概 要 |
|---------------|----------------|----------------|-------------------------|---|
| I. 著 書 | | | | |
| 経済学 | 単 | 昭和30. 6. 15 | 松居書店 | 教養経済学の教科書用（144頁） |
| 理論経営経済学 | 単 | 昭和32. 4. 13 | 同 上 | 経営経済の諸学派を包括する（196頁） |
| 経営経済学 | 単 | 昭和33. 11. 20 | 青林書院 | 経営学総論として概括する（278頁） |
| 現代商業簿記 | 単 | 昭和35. 4. 20 | 明玄書房 | 商業簿記の計算体系を解明する（200頁） （本書は，全国学校図書館協議会選定図書に認定される） |
| 経営における人間の研究 | 単 | 昭和42. 5. 10 | 税務経理協会（477頁） | 経営に働く人々を対象として，その研究方法，理論，および，現実分析に基く資料を提示する |
| 経営学原理 | 単 | 昭和48. 5. 15 | 千倉書房（367頁） | 経営学の方法，実証を示し，諸学派を述べ，企業の構造と活動を明らかにする総合的研究 |
| 経営管理の原理 | 単 | 昭和60. 1. 5 | 千倉書房（352頁） | 総合的研究方法により企業の経営管理の，原理と技術体系化を試みる |
| 企業経営 | 共 | 昭和35. 4. 25 | 青林書院 | 人事管理（84頁～122頁）担当，他の著作者名一相馬堅次，杉本常，栗屋義純，渡辺津二，山口年一，の5氏 |
| 現代経営学演習 | 共 | 昭和46. 6. 10 | （株）春秋社 | 人事と労務（73頁～95頁）担当，他の著作者一稲葉元吉，菊池敏夫，衣笠洋輔，玉井康雄，都築栄，矢島釣次 |
| 経営管理ハンド・ブック | 共 | 昭和47. 11. 10 | 新評論 | 労務管理（98頁～128頁）担当，他の著作者一岩崎庄一，玉井康雄，都築栄，中西勉，松原成美 |

| 著書，学術論文等の名称 | 単著 共著 の別 | 発行又は 発表の年月日 | 発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称 | 概 要 |
|---------------------|----------------|----------------|---------------------------|-------------------------------------|
| Ⅱ．論文(1) | | | | |
| 価値の流れの考察 | 共 | 昭和32. 1 | 関東短大紀要第3号 | (89頁～101頁) ニックリッシュ等の価値の流れの理論についての批判 |
| 経営経済における存在性 把握 | 〃 | 昭和33. 10 | 亜細亜大学紀要第1号 | 経営の存在性を問う基礎理論 |
| 日本の古代の経営 | 共 | 昭和34. 8 | 経済往来8月号 | 古代経営を概観する |
| 日本古代経営史研究Ⅰ | 共 | 昭和34. 10 | 亜細亜大学紀要第2号 (157頁～168頁) | } 日本の古代経営を生産趾に基いて分析する |
| 日本古代経営史研究Ⅱ | 共 | 昭和35. 3 | 亜細亜大学紀要第3号 (47頁～60頁) | |
| 産業体におけるモラル の研究 | 共 | 昭和35. 6 | 同上第4号(31頁～42頁) | モラルの本質についての考案 |
| ニックリッシュの人間観 | 共 | 昭和36. 1. 31 | 同上第5号(35頁～48頁) | ニックリッシュの哲学的基礎を検討する |
| 最近の独乙経営学 | 共 | 昭和35. 2. 1 | マーケティング2月号 | グーテンベル批判を中心とする |
| 日本における古代経営 | 共 | 昭和35. 5 | 日本経営学会誌「日本の 経営」(大会発表) | 古代の生産趾の研究 |
| 経営における心理実験適 用の反省 | 共 | 昭和35. 6 | 日本経営学会高松大会誌 (大会発表) | 心理学的方法についての批判 |
| モチベーションリサーチ の方法論 | 共 | 昭和36. 10 | 亜細亜大学紀要第6巻 (41頁～50頁) | モチベーションリサーチの方法批判 |
| 企業イメージと経営心理 | 共 | 昭和37. 4 | 税経通信第17巻第4号 (61頁～67頁) | 企業イメージを経営心理学的立場から分析 |
| 販売論 | 共 | 昭和37. 5 | } 玉川百科辞典経営編 | 販売論においては商事販売論 |
| 企業形態論 | 共 | 昭和37. 5 | | 企業形態については，その史的考察 |

| 著書，学術論文等の名称 | 単著 共著 の別 | 発 行 又 は 発表の年月日 | 発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称 | 概 要 |
|-----------------|----------------|-------------------|-----------------------------------|--|
| 人的生産力の基礎 | 共 | 昭和38. 10 | 日本経営学会第37回大会誌（大会報告） | 産業における人々の意識についての調査 |
| 産業人の類型化について | 共 | 昭和38. 11 | 日本応用心理学会第30回大会誌（大会報告） | 産業に従事する人々の類型を調査する |
| 労務管理の科学性 | 共 | 昭和38. 11 | 日本工業経営学会誌「JIMA」28号（大会報告） | 労務管理と，その基礎研究となる諸科学との関係を問う |
| 人間関係の基礎的研究 | 共 | 昭和39. 11 | 日本経営学会第38回大会誌（大会報告） | 人間関係について，資料に基く実証的研究 |
| 企業体の生産力 | 共 | 昭和39. 4 | 日本工業経営学会誌「JIMA」30号（大会報告） | 企業体の生産要因の分析 |
| 企業経営の支柱Ⅰ | 共 | 昭和40. 2. 1 | 国土産業経済2月号 | 企業の主要な生産力要因を分析する， 同誌4回にわたり，継続的に掲載する |
| 企業経営の支柱Ⅱ | 共 | 昭和40. 3. 1 | 国土産業経済3月号 | |
| 企業経営の支柱Ⅲ | 共 | 昭和40. 5. 1 | 国土産業経済5月号 | |
| 企業経営の支柱Ⅳ | 共 | 昭和40. 6. 1 | 国土産業経済6月号 | |
| Ⅲ. 論 文(2) | | | | |
| 人間関係論の検討 | 共 | 昭和41. 9. 1 | 日本工業経営学会誌「JIMA」第33号（大会報告） | メーヨー，レスリスパーカー等の人間関係論を批判する |
| 管理行動の現実的分析 | 共 | 昭和45. 3 | 神奈川大学経済学会「商経論叢」第5巻 第3・4号（1頁～41頁） | 管理行動についての現実的資料に基いての，歴史的現実としての管理の本質を究明する |
| 現代の経営理念 | 共 | 昭和46. 3 | 神奈川大学経済学会「商経論叢」第6巻，第4号（1頁～23頁） | 我国の経営者のもつ経営理念を基礎理念とし，経営理念の構造を，客観的分析，主観的分析の観点より明らかにする |
| 産業における日常的人間性の基礎 | 共 | 昭和58. 3 | 経済貿易研究所年報 No. 10. （1頁～25頁）（神奈川大学） | 産業に従事する人々の人間性について，生活のレベル，仕事上のレベルに於て，総合的観点より，客観的主観的研究方法により，動機の深底にまで遡り究明する |